

### 話題

## 毎月22日を「禁煙の日」に制定 禁煙推進学術ネットワーク

「2」の数字が並んだ平成22年2月22日から、毎月22日を「禁煙の日」と制定することを決めた。「22」を白鳥(スワン)が2羽寄り添う姿と重ね合わせ、「毎月22日は「禁煙の日」。スワン スワン(吸わん吸わん)で禁煙を！」というスローガンも作成した。2羽の白鳥が寄り添うように、医師や家族などのサポートを得て禁煙を促進してもらいたいという願いが込められている。

日本癌学会など12の医科・歯科学会で構成する禁煙推進学術ネットワークは、制定に合わせてポスター(写真)や小冊子、シールなどの啓発物を作成、配布している。詳細はホームページ(<http://www.kinennohi.jp/>)で。



## 「認知症高齢者の自動車運転を考える 家族介護者のための支援マニュアル」ダウンロード配布開始

「認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討」研究班

運転免許を保有する認知症患者の数は約30万人に上ると推測され、それ

に伴う交通事故をどのように防ぐかが大きな社会的課題となっている。平成19～21年度の厚生労働科学研究費補助金認知症対策総合研究事業の研究結果に基づいて、同研究代表者、荒井由美子・国立長寿医療センター長寿政策・在宅医療研究部部長らが小冊子「認知症高齢者の自動車運転を考える 家族介護者のための支援マニュアル」を作成、インターネットサイト(<http://www.nils.go.jp/department/dgp/index-dgp-j.htm>)で無料ダウンロード配布を始めた。

事故を繰り返した後に自動車運転免許を取り消したり、家族同乗で運転を続けたりした認知症患者の事例を紹介した上で、認知症原因別の運転特徴や関連法、相談窓口などを具体的に説明しており、実務的で役立つ内容となっている。



### サイト

## 米国がんセンター作成 GL を邦訳「NCCN ガイドライン日本語版」公開

財団法人先端医療振興財団臨床研究情報センター

シティ・オブ・ホープがんセンターなど米国を代表する21のがんセンターによって構成されるガイドライン策定組織、National Comprehensive Cancer Network (NCCN) が作成するがん診療ガイドライン、NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology™ の日本語版配信をイン

ターネット (<http://www.tri-kobe.org/nccn/index.html>) で始めた。

配信第一弾としては、日本大腸癌研究会の協力を得て邦訳された「結腸がん」「直腸がん」の2種類のガイドラインが公開された。今後、「肛門がん」「大腸がんのスクリーニング」などを随時増やしていく。



### 新発売

## 両眼視機能検査装置「DR-100」 オリンパスビジュアルコミュニケーションズ

斜視や眼球運動障害などが疑われる患者に行う両眼視機能検査のための装置「DR-100」を1月28日、発売した。価格は45万円(税込み)。

3D立体映像をゴーグルタイプのヘッドマウントディスプレイで見ても検査を行う。従来の大型検査装置と比較すると大幅な省スペース化を図ることができるという。



## とろみ付き流動食「F2 ライト」

テルモ

とろみの付いた流動食品「F2ライト」を2月18日、発売した。大豆ふすまの食物繊維、タピオカデキストリン